

## 地震発生時の対応

まず自分の身の安全を確保し、落ち着いたら家族との安否確認、大学へ安否連絡をしましょう。

### 大きな揺れを感じたら

地震発生

自分の  
身を守る

### 揺れがおさまったら

その場を動かない  
周囲の状況を確認

家族との  
安否確認  
(P3・P4参照)

### 落ち着いたら

自宅へ  
避難場所へ

大学へ  
安否連絡  
(P5参照)

### 大きな揺れを感じたら

- 通学・帰宅中、授業や課外活動中、周囲に危険物・倒れやすいもの（塀、電柱、自動販売機、窓ガラスなど）がある場合、速やかに離れ、落下物から頭や顔、手足を守る。
- 慌てて飛び出したりせず、揺れがおさまるまで、安全を確保し待機する。

### 揺れがおさまったら

- ドアや窓を開けて、脱出路を確保する。閉じ込められる危険があるのでエレベーターは使わない。誘導灯を目印に移動する。  
エレベーター内に閉じ込められた場合は、落ち着いて非常ボタンを押し、救助を求める。  
※授業中、課外活動中に教職員より避難誘導指示がある場合、その指示に従う。  
学外で警察や消防による避難誘導指示がある場合、その指示に従う。
- 学内で安全が確認できない場合は避難場所へ避難する。  
※避難場所はP8の図で確認してください。
- 火災が発生したら、煙を吸わないようタオルやハンカチで口を覆う。
- 学内において、負傷者がいる場合は、自分の安全が守られる範囲で、周囲と協力しながら応急手当を行う。また、負傷者や障がい者を優先的に誘導しつつ避難する。  
※AEDの設置場所は、P9の図で確認してください。
- 避難する際は、余震に注意するとともに地面の亀裂、陥没や落下物に注意する。

## 家族との安否確認

各社の「災害用伝言掲示板」に事前にメールアドレス等、登録しておきましょう。

電話番号を入力することで、安否確認を行いたい人の検索ができます。

被災した場合に電話番号や名前などを登録すると現在の避難場所や伝えたいことを登録できます。

### NTT災害伝言ダイヤルサービス

- 地震などの大規模災害時に安否確認の電話が激増し、つながりにくくなった場合に提供され、安否等の情報を文字または音声で登録・確認できるサービスです。
- 安否確認は電話ではなくインターネットを活用するとともに災害時の連絡方法について、あらかじめ家族と確認しておきましょう。

#### ◆文字入力により登録する場合

NTT東日本・NTT西日本  
【Web171】



#### ◆音声ガイダンスに従い登録する場合

「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作

#### 伝言を入れるとき

- 171を入力
- 1を入力
- 伝言を入れる人の自宅電話番号を入力（市外局番から）
- 伝言を入れる（30秒以内）

#### 伝言を聞くとき

- 171を入力
- 2を入力
- 連絡を取りたい相手の自宅電話番号を入力（市外局番から）
- 伝言を聞く（伝言の保存は2日間）

※利用可能な端末：NTTの一般電話、公衆電話、携帯電話

### 携帯各社の災害伝言板サービス

- 地震などの大規模災害時に携帯電話から安否確認（安否情報の登録）ができる災害用伝言板サービスです。
- あらかじめ指定された家族や知人に対して、災害用伝言板に登録されたことをメールでお知らせする機能も提供され、インターネットからも安否情報の確認が可能です。

#### ◆各社の災害用伝言板サービスQRコードはこちら



【NTT docomo】



【au】



【Softbank】



【Y!mobile】

# 防災対応 マニュアル

## 緊急時対応の手引

一財布などに入れて常時携帯しましょう

このマニュアルは水に強く、破れにくい素材  
ストーンペーパーで作られています。

# 大学への安否連絡

## 安否連絡方法

大地震が発生した場合、本学では学生の安否確認を学生ポータルを通じて行います。連絡が可能な状況になり次第、下記の方法で大学に連絡してください。

### 1 メールアドレス

**gakusei@ims.sgu.ac.jp**

### 2 電話

**011-802-8635**

(新札幌キャンパス 学生支援課 直通)

**011-386-8111**

(大学代表)

※電話が繋がりにくくなる可能性がありますので、極力メールにて連絡してください。

### 【報告内容】

- ①学籍番号 ②氏名 ③本人および家族の状況
- ④自宅や付近の状況 ⑤困っていること
- ⑥連絡先 ⑦その他

5

# 大学で火災が発生したら

## 通報・初期消火

- 火災報知機や大声で周りの人に火災が発生したことを知らせる。
- 初期消火が出来るよう近くの事務室や警備室に知らせる。
- 危険な状況でなければ館内各所に設置されている消火器で消火する。

## 避難

- 校内非常放送、教職員の指示に従って避難する。
- 誘導灯の示す方向に向かって避難する。火や煙でふさがれている場合はもう一方の避難通路を使用する。
- 煙を吸わないようタオルやハンカチで口を覆う。
- 避難の際、エレベーターは使用しない。もし、乗っているときに火災を感知した場合、最寄の階に着床するので避難通路から避難する。校内非常放送で使用できない階段について指示する場合がありますので、階段名(A~D)についてP9の図で確認してください。

## 倒れている人がいたら

- 学内の場合、近くの事務室や保健室または警備室に知らせる。倒れている人の意識がない場合はAEDが必要であることを伝える。
- ※AEDの設置場所はP9の図で確認してください。

6

# 緊急時用パーソナルメモ

## 家族の連絡先

氏名: \_\_\_\_\_ 続柄: \_\_\_\_\_ 電話: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_ 続柄: \_\_\_\_\_ 電話: \_\_\_\_\_

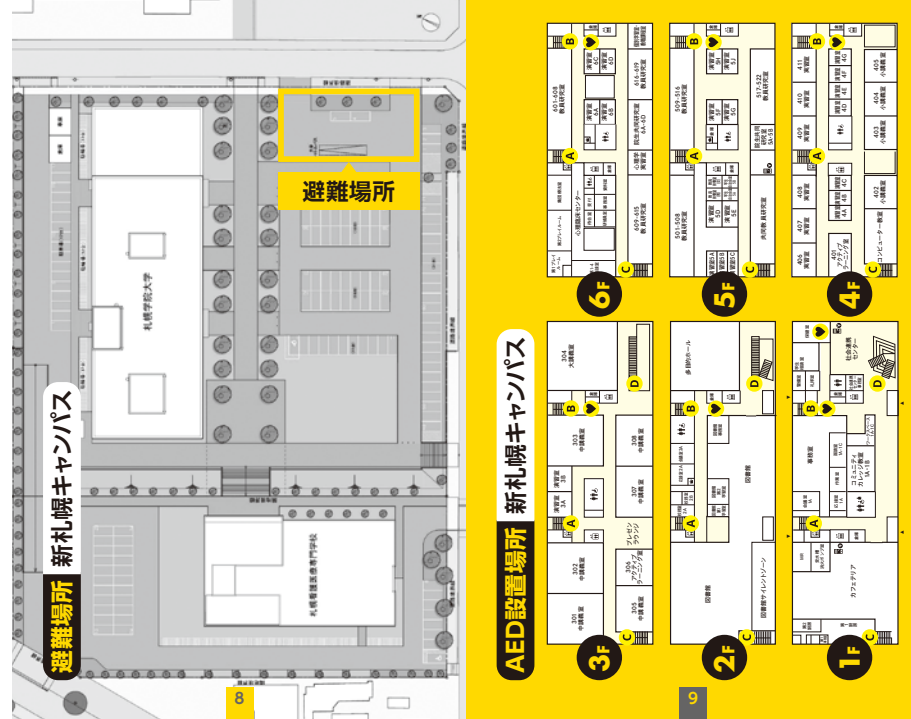
## 自宅周辺の避難所

## 家族との待ち合わせ場所

## 持病

## アレルギー

7



9